

ランブリング広小路 近代建築散歩！！

名古屋の都心を東西に貫く広小路をランブリング♪♪

広小路と長者町通りの交差点に、「旧名古屋銀行本店」ビルが建っています。レトロでモダンだった頃の広小路を象徴する建物といえるように思います。



名古屋銀行は、地元の実業家の出資による私立銀行として、1882年（明治15年）に設立されましたが、この建物は、1926年（昭和元年）に建築されています。その後、名古屋銀行・愛知銀行・伊藤銀行の3つの銀行が合併し、東海銀行の建物、中央信託銀行の名古屋支店、更に三菱東京UFJ銀行の貨幣資料館を経て、現在、空家になっています。

石張りの外壁と4層を貫く6本の巨大なコリント式の列柱が、強烈な銀行建築の印象を醸し出しています。設計は、鈴木禎次が当たり、竹中工務店が施工しています。今は、活用されていませんが、この建築の特徴を活かしたりノベーションが期待されます。



広小路を東に行くと、隣に立っていた「大和生命ビル」のモニュメントが角地に設置されています。土地の記憶を、まちづくりに活かしていきたいものです。

更に、東に行くと明治屋名古屋ストアがあります。こちらは1938年（昭和13年）竣工ですが、外観のアールドデコ風のファサードと、ハイカラな品物を扱う贅沢な雰囲気、広ブラした人の心を捉えたのでしょう。右読みの「店支屋古名 屋治明」のロゴが時代を語っています。



その向かいには、「村野藤吾」の作品である「丸栄百貨店」があります。昭和28年建築学会賞を受賞しています。西面一面に描かれたタイル張りの外壁が特徴で、よく見ると当時の進取の気風が感じられるように思います。



♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

名古屋の都心を貫く広小路は、そこかしこにレトロモダンな香りが、ほのかに漂っているようです。これからも、都心の開発は進むのですが、土地の歴史をリスペクトした開発が望・まちづくりが望まれます。

(T. Y. (*^_^*))